

# 八戸市新美術館設計者選定プロポーザルについて

八戸市では、平成32年度の開館を目指して新美術館の整備を進めていますが、このたび、公募型プロポーザルを実施し、基本設計を行う設計者を選定しました。市民の皆様と一緒に創る美術館として、審査の透明性の観点と、建築文化の振興に資することを目的に、プロポーザル実施の経過報告を行います。

**最優秀者：西澤徹夫建築事務所・タカバンスタジオ設計共同体【129番】**

**優秀者：リライト・バウ設計共同体【41番】**

## ●プロポーザル審査委員会の設置

平成28年10月27日に、市内外の有識者によるプロポーザル審査委員会（委員長：北原啓司弘前大学大学院地域社会研究科長）を設置しました。審査委員会では、これまでにない新しいタイプの美術館を市民や行政と一緒に創り育てる意欲に溢れた設計者をパートナーとして選定できるよう、募集要項を定めました。



## ●第一次審査の実施

プロポーザル参加者を全国公募したところ、138者から技術提案書が提出されました。平成29年2月6日に行った第一次審査は、八戸市公民館の展示室に全部の技術提案書を掲示し、審査委員が1作品ずつ吟味した上で投票と議論を重ね、第二次審査に進出する5者を選定しました。



## ●公開プレゼンテーションの開催

第二次審査の一環として、八戸市では初となる公開プレゼンテーションを開催しました。1者ずつのプレゼンテーションの後、5者が一堂に会してのディスカッション形式によるヒアリングを行いました。傍聴の申込みが殺到し、申込受付初日の午前中で定員に達したほか、市外からの申込みも半数を超えるなど、市内外からの関心の高さが伺えました。



## ●設計者選定・市長への報告

公開プレゼンテーション後、第二次審査として委員による投票を行いました。その結果、得票数の多い順に決定することが妥当であると委員の意見が一致したことから、最優秀者及び優秀者を決定しました。平成29年3月2日に北原委員長から市長へ審査結果を報告し、本プロポーザルが終了しました。

